

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年1月26日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670105073
法人名	有限会社 いろり
事業所名	グループホーム いろりの家
所在地	鹿児島県鹿児島市坂之上6丁目20番30号 (電話) 099-262-4647
自己評価作成日	平成28年12月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年1月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当グループホームは、鹿児島市南部にある郊外の静かな住宅地に位置しております。近隣には郵便局・スーパー・大学等が在り、衣料品店やスーパー等で入居者様と一緒に散歩を行いながら買い物に出掛けております。入居者様の生活を安全に送っていただくために、毎月ミーティングを設け、身体拘束・高齢者虐待・感染予防・安全管理委員会を立ち上げて研修を取り組んでおり、入居者様の支援に反映できるように、知識・経験向上に勤しんでおります。また、ご家族や地域の方々との交流も出来るだけ深めていただけるように、季節の行事や運営推進委員会等にて参加の呼びかけを行っております。遠方にいらっしゃるご家族様へは毎月お便りを発送しております。入居者様への医療管理については、かかりつけ医との連携を密に図り、看護師を中心に看取り介護まで取り組んでおります。これからも入居者様・ご家族様が安心安全に「ゆっくり・楽しく・一緒に」想いが叶えられる住み慣れたホームであるように努めていきます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は併設してデイサービスや有料老人ホーム・宅老所があり、利用者の交流も行われ、相互協力体制が構築されている。
- ・町内会に加入し、地域の清掃活動や資源回収にも積極的に参加し、認知症の相談を受けるなど地域との良好な関係が築かれている。
- ・管理者と職員はミーティングや研修会で知識や経験を向上させ、利用者が安全にその人らしい生活ができるように支援している。
- ・災害対策として定期的な訓練と安全面に配慮した整備がなされ、運営推進会議を兼ねての避難訓練では地域住民も参加し、相互の協力体制もできている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	近所の方への挨拶、理念に基づき、気を配るようにしている。近隣の住民とは積極的に交流を行っており、時折散歩中にお花を頂くこともある。	地域との関連性を踏まえた独自の理念で、玄関やホールに掲示している。ミーティングで振り返り、月1回の職員会議等で話し合い、理念を共有して日々のケアに取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会への協力、資源物の回収へ積極的に協力している。道路側の清掃等も行っている。	町内会に加入し、回覧板や運営推進会議等で地域と情報を共有し、資源回収や清掃活動にも積極的に参加している。高校生の実習、ボランティアの受け入れなども行っている。認知症の相談にも対処する等、日常的に交流している。保育園児との交流を計画中である。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	行事や運営推進会議の際に有識者（町内会長、民生委員、会長等）に困り事に対応したり、認知症の方への支援の方法等をお伝えしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>基本、定期的な形で行っている。日常の中での開催や行事を含めた中での開催も取り入れている。様々な意見を取り入れサービス向上に活かしている。</p>	<p>会議は定期的に行っている。事業所・利用者の状況報告や外部評価の報告等を行い、意見交換をしている。避難訓練にも参加してもらい災害時の協力を呼びかけている。高齢者の避難等のアドバイスや頭巾などの防災グッズの整備を検討中であり、サービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>本人様に関して関わりのある担当者とは日頃も密接に連絡を取っている。又、運営推進会議に長寿あんしん相談センターの担当者とも関わっている。</p>	<p>市担当者とは、事業所の実情や取り組みを伝え、連携を深め助言を貰っている。運営推進会議を通して協力関係もできている。毎年介護相談員を受け入れ、市主催の研修会にも積極的に参加している。生活保護の担当者とも密に連絡し合っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束は行っていない。3原則に則り、それでも出来る限り行わないケアを実行し入居者様が望むケアを行う。また、身体拘束・高齢者虐待の研修も行っている。</p>	<p>身体拘束廃止委員会でマニュアルに沿って勉強会を実施している。対象となる事例検討会などで職員の共有認識を図り、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。言葉による拘束についても日々確認している。日中の玄関の施錠はせず、外出しそうな様子を察知したら、見守りや同行など職員間の連携で安全な暮らしを支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>スタッフミーティングの機会を利用して学習し、実践に活かしている。また、職員間同士で注意を払い虐待を行わない様、お互いに防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>人権を尊重し、どの様な境遇の方でも平等に接するように支援を行っている。又、後見人や権利擁護等の研修も行っている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>内容については分かり易く、メリハリをつけ、重要な箇所は特に理解をして頂けるよう何度もお伝えしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご家族様へは、面会時に積極的にお話しを行っております。先ずはご本人様の現況をお伝えし、そこからご意見やご要望を引き出すようにしている。</p>	<p>気軽に話し合える雰囲気作りに留意している。利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞いている。家族からは面会や家族会時に利用者の写真を見せながら様子を伝えて話を聞いている。意見箱も設置している。出された要望で個人で新聞を購入するなど、利用者の楽しみに反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月のミーティングや申し送り等にて提案を受けている。代表者・管理者にて協議を行い、可能な限り反映にうつしている。</p>	<p>管理者は毎月のミーティングや日々の申し送り等で職員の意見や提案を聞く機会を設け、その反映を図るよう心がけている。出された意見で、ホールに加湿器や空気清浄機を設置したり、玄関に自動式芳香剤を置く等、環境整備に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>勤務状況やその能力により、個人面談等を行い、各自向上心を持ち続けて働いていける環境を提供していく。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>管理者からの報告や定期的なミーティングによりスタッフの状況や把握を行っている。研修へは出来る限り機会を取るようになっている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>スタッフより研修等を積極的に行うよう、研修棟の紙面をできるだけスタッフ間に提供している。また、事業所内でも研修を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居してくる初期の段階は入居者様が不安にならないように各職員が目配り、気配りを行い、あんしんして人間関係を作れるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居初期は入居者様の観察と動向に最大に注目して、職員間で意思統一しながら、職員や他入居者様との関係に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	自宅からの入居者様には民生委員や他サービス機関より情報をもらい、連携を図ることで初期の支援をスムーズに行えるように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様の生き方・生活パターンを尊重し、人生の先輩として捉え、接するように心掛けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様が近くへ住まわれている入居者様へは、出来るだけ面会の機会を持って頂けるようにスタッフがご家族様と関わり合う様にしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	他の施設から移動してきた方には必ず前の友人達が安心して、訪問できるように心掛ける。	地域の利用者が多く地域の行事に積極的に参加している。親戚や友人・知人の来所を奨励し、お茶を一緒に飲むなど継続的關係が途切れないよう働きかけている。訪問理美容院を利用して馴染みの関係ができています。手紙や電話の取次ぎなども行っている。近所に買い物に出かけ馴染みの関係が途切れない支援に努めている。家族の協力で外出や外食・墓参などに行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の関係の把握はスタッフにて共有している。入居者様が安心して生活を送れる様、座席の配置等環境について、しっかりと対応している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても、いつでも相談や機会があれば面会に伺ったり、ご家族様へのアフターフォローもしっかりと行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	思いや希望は傾聴し、何うようにし、難しい内容についてはスタッフ間で話し合い決めている。意向に沿えない時は言葉や環境を考慮し、伝える様になっている。	日々のケアの中で、利用者の希望や要望に耳を傾け、顔色や話の内容から思いや意向を把握している。困難な場合には、家族や友人・知人からの情報を得て、職員で話し合い、利用者本位の支援に結びつくよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前時にアセスメントをとっている。生まれた頃からの事をご本人様やご家族様・関係機関に伺い、情報収集に努め把握し、サービスに活かしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ホームでの生活パターンを一人一人把握し、穏やかな生活を送って頂けるように支援している。ちょっとした変化を見逃さない様、常に様子観察を行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	アセスメントを行い情報収集した上でスタッフ間で話し合い、方向性を決め、ご本人様・ご家族様、関係者と説明・同意をもらっている。修正ある場合は速やかスタッフ間で話し合いを行う。	本人や家族・主治医の意見を取り入れ、個々に応じた介護計画を作成している。アセスメントを行って情報収集をしている。毎月モニタリングを実施し、6ヶ月毎に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	確実に記録を行っている。朝・夕の申送りでの気づきや工夫を話している。スタッフミーティングを通して意思統一しながら実践と見直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	各入居者様に沿った支援サービスを行っている。基本、ケアプランに沿ったサービスと入居者様の変化に応じた実践を全職員で実践している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	他施設へのデイケアの案内や近くのスーパーへの買い物、散歩での地域の方々との交流をしている。また、地域代表との定期的な話し合いも行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	各入居者様とその家族の意向に沿ったかかりつけ医を決められ、往診や定期受診を確実にしている。臨時の往診も行えている。	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。かかりつけ医の2週間に1回の訪問診療や歯科の月1回の訪問診療で対応している。他科受診は家族に連絡し、結果は家族と連携を図っている。緊急時の対応などは家族と連携を取りながら適切な医療が受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日常の様子を相談報告し連携して支援出来ている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>ホームでの様子や現況を伝え情報交換を行っている。ちょっとした変化についても相談を行い、しっかりとその後の報告もしっかりと行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>本人様・ご家族様と相談し、出来る範囲で支援を行っている。難しい部分もあるが、チームケアとして最後まで安心して過ごして頂けるように取り組んでいる。</p>	<p>契約時に重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し同意書を貰っている。状況変化に伴い本人や家族と話し合い家族と方向性を共有できるよう取り組んでいる。看取り希望の場合は家族と医師や職員が連携を取り、随時、意思を確認しながら取り組んでいる。看取りの事例がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>マニュアル作成にて、初期対応についてしっかりと行えるように定期的に確認作業を行っている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>災害訓練を年に2回行っている。災害対策はマニュアルを作成し、対応する。運営推進会議にて、近隣の方や地域の博識者との関係を築いており、協力をお願いを行っている。</p>	<p>年2回消防署立会いのもと昼夜想定避難訓練を実施している。スプリンクラーや緊急通報装置を設置している。運営推進会議のメンバーに参加してもらい、地域との協力体制もできている。災害時の水や米・缶詰・圧力釜・ガスコンロ等の備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ミーティングや研修で定期的に対応や言葉かけについて、言葉だけではなく、口調等についても配慮して対応している。	マニュアルを基にミーティングや定期的に勉強会を開催し職員の資質向上に取り組んでいる。人格を尊重し、プライバシーに配慮している。入室時はノックを行い、口調や声かけについても人生の先輩という思いで誇りやプライドを傷つけないように対応している。名前は「さん」付けで呼ぶ等、個々に対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	食べたい物や着衣の選択等、生活の中での事や外出先での希望等、できるかぎり行えるようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日のことについて、本人には聞き、行えている（入浴など無理強い等せずに翌日に変更するなどしている。）。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	離床する時など髪をとかす行為など行う事が出来ている。外出の際は着る服など選んで頂き楽しみが出来るようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食べたいものを献立に入れたり嗜好品をおやつで出したり行えている。手伝いの出来る方にはいつていただいている。	旬の食材を使い利用者の希望や嗜好に添った献立や食事形態を工夫している。一人ひとりの力を活かしながら、梅のシロップ漬け作りや買い物・食事の準備・片付け等、できることは職員と一緒にしている。おせちや焼肉・しゃぶしゃぶ料理、誕生日にはケーキを作り、弁当持参で花見に出かける等、食事が楽しみなものになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取、水分摂取表を作成し、記録を行っている。一日の状況を把握して支援を行っている。摂取量が少ない方にはその方に応じた対応を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行っている。夜間は義歯の方は洗浄剤につけている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入居者様個人個人の状況について排泄能力やパターンを把握し、支援を行っている。	排泄チェック表で排泄能力やパターンを把握している。必要に応じて声かけを行い、トイレでの排泄の自立ができるように支援している。オムツ使用の利用者は現在はいない。排泄用品は個々人に合わせ使用している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	繊維の多く含まれた食材や昼食事のヨーグルトの提供頑固な便秘の方にはヤクルトを飲んでいただいたり、予防に取り組んでいる。運動なかなか取り組みが完全ではない。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴を拒否しがちな入居者様の方とはタイミングを見計らったりし、無理強いをせずに入浴をいただいている。	入浴は基本的に週3回、本人の希望で午前や午後に行い、個々に合わせた入浴支援に努めている。入浴を拒む利用者にはタイミングを見て声かけや時間調整など職員間で連携して、状況改善に努め、入浴を楽しめるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	疾病の都合上、規則正しいリズムが必要な方には、朝は出来るだけ起きていただき、朝日を浴びることができるよう支援、また、個人のリズムに合わせた方が良い方にはその時の状況に応じて援助する		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ホーム内の看護師のもと、服薬援助を行う事が出来ている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	洗濯物たたみなど出来ることを手伝って頂いている。嗜好品提供や外出など、定期的、又希望のある時に行っている。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	近くのスーパーへの買い物や庭やホーム周辺の散歩など行っている。墓参りなど、ご家族様の協力を得て、行えるようにしている。	<p>日常的には近隣の散歩や畑のスイカやピーマン・トマトなどの手入れ、庭の梅ちぎりや近くの店に買い物などに出かけている。年間計画を立て、初詣やソーメン流し・公園・弁当持参での桜見物にも出かけている。家族の協力外出や外食・墓参などの支援もしている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	自己管理ができる方には、買い物等に一緒に出かけ、お金の管理も行っている。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	毎月お便りを出し、本人様の状況をご家族様にお伝えしている。また、電話やお手紙にてやり取りが行える方は行って頂けるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	空気清浄機やトイレ防災暖簾、また、各居室にも防災の暖簾やカーテンを使用している。冬場には加湿器を使用したりと、採光や音等の環境が心地よい様に行っている。	共用の空間は明るく、加湿器や空気清浄機・消臭剤を設置し、温度・湿度・彩光・音に配慮して清潔である。壁には利用者の作品や写真が飾られている。利用者が座ったり寝転んだりできる畳コーナーや好きな場所のソファで居心地よく過ごせるような工夫がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間（ホール）では、関係性を考慮して席配置を行っている。ホールには常に他の入居者様がおられたり、独りになりたい希望がある方は居室にて過ごして頂いている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたものや好みの物を置き、安心して過ごせるようにできている。	居室には防災暖簾や利用者の表札が掲げてある。ベッドやダンス・押し入れ・洗面台が備え付けである。寝具や椅子・テレビ・時計・人形・遺影・写真など、使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、安心して過ごせるよう配慮されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	箆箆に何が入っているのか、居室やトイレ入口等、分り易い様にしている。出来ることなど出来るだけ実施して頂いている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない